

# オスピス・ド・ボーヌと ワイン・オークション

横山 弘和

世紀末、西暦1999年も残りわずかとなりました。大晦日の除夜の鐘を聞きながら、1000年に一度という年末の名残を惜しみ、迎える新年西暦2000年に希望を託す頃、おそらく巷では大勢の人々が、特別の想いでシャンパンや様々なワインの栓を抜き祝い合うことでしょう。考えてみますと、今年収穫されるワインが瓶詰めされ、ラベルに1900年代の文字が表示されるのはこれが最後になる訳です。この意味からすると、今年のワインは作柄の優劣以外でも、大きく注目されることになるのではないかと思います。ブルゴーニュ、オスピス・ド・ボーヌのワイン・オークションも盛大なものになるに違いありません。

本誌でもご紹介したことがあるように、ブルゴーニュでは毎年11月の第3土曜日から「栄光の3日間」が開かれます。1日目土曜日の夜は、シャトー・デュ・クロ・ド・ヴージョの大晩餐会（本誌23号）、3日目日曜日はポーレと呼ばれるムルソーの昼食会（同27号）、そして中の日曜日には、ブルゴーニュ地方の中心ボーヌの町で、ぶどうの収穫のお祭りや新酒のオークションが開かれ、世界中からやってくる大勢の人で賑わいます。人口わずか2万人ほどのこの小さな町は、このときばかりは車も閉め出され、中世の衣装をまとった人々の行列やブラスバンドで沸き返り、「栄光の3日間」にふさわしい雰囲気にあふれます。

ワイン関係の行事は世界各地にあります。そのどれよりも伝統があり、関心を集めているのが、このボーヌのワイン・オークションです。



ワイン・フェスティバルのバレード

15世紀にこの地方を統治していたブルゴーニュ大公の下で大法官を務めたニコラ・ロランとその妻ギユース・ド・サランは、1443年、病人と貧しい人々のためにオスピス・ド・ボーヌ（ボーヌ施療院）を作りました。この慈善救済院の運営を維持する目的で、市民が次々とぶどう畑を寄付し、そこで作られたワインをオークションにかけて運営資金を作り出すのです。1859年に初めてのオークションが行われて以来現在まで続く、伝統的な催しです。

正式にはL'HOTEL-DIEU・de・Beauneと呼ばれるこの慈善救済院が建てられた15世紀中頃、この地方の住民はたいへん貧しく、ブルゴーニュ全体で資産のある家族は24、あとはほとんど乞食同然であったと伝えられています。しかし、建物は純粋な中世ゴシック様式、屋根は明るい色のモザイク模様で葺かれ、フランダース芸術の傑作の一つとして美しく印象的です。院内のホール、教会、調理場、調葉室、大理石彫刻などはたいへん立派で、また「最後の審判」を描いた装飾屏風はロジェ・ヴァン・デル・ウェイデンの有名な作品です。ボーヌの中心の広場近くにあるこのオスピスは、同じ市内にあるブルゴーニュワイン博物館と共に人気の観光ルートになっており、毎日見学ができます。

オスピスが所有するぶどう畑は、主にコート・ド・ボーヌにあり、その起源は、慈善救済院の経営を助けようとするパン屋さんがぶどう畑を寄進した1459年にさかのぼります。その後次々と寄進者が増え、現在ぶどう畑は58ヘクタール。アロース・コルトン、サヴィニイ・レ・ボーヌ、ボマール、ヴォルネー、ムルソーなど、主にコート・ド・ボーヌの有名な村々に散在しています。1977年には初めて、コート・ド・ニュイからマジシャンベルタンが新しく寄進され、その後1990年に同じくコート・ド・ニュイからクロ・ド・ラ・ロッシュが加わりました。作られるワインの量は、年によってかなり異なりますが、1988年のように豊作のときは700樽（1樽から約300本）になります。また、このオークションでは15樽ほどの蒸留酒（ブランデーとマール）も競りにかけられます。

1988年筆者は、この土地の有力ワイン業者の



横山 弘和 / よこやま ひろかず  
1930年兵庫県生まれ。65年ホテル・オークラ(東京)入社。95年に退社するまでソムリエとして30年間一貫してワイン関係業務に従事する。88年11月ブルゴーニュ・シュヴァリエ・デュ・タートヴァン(利き酒騎士)叙任。現在在叡多高会ヴィタリテ事業部在籍。

招きで、このオークションに参加しました。オークションの前日、オスピス所属の醸造所で、競売される新酒の公開試飲会がありました。次々と樽からくみ取り注いでくれるキュヴェの利き酒をしましたが、発酵を終えたばかりのワインはまだ濁っていて、味も酸っぱすぎず美味しくは感じられませんでした。それでも買い付けにきているバイヤーたちは、そのワインがいかに熟成してどんなワインになるか、この段階で判定できるらしく、オークションの参考にたと熟心にメモを取っていました。

そして、当日11月20日日曜日の午後、初回から数えて128回目のオークションが、ボーヌ市のホールを会場に始まりました。世界中から集まった大勢のワイン業者の中に、当時バブル景気たけなわの日本からの参加者も非常に多く、さすが経済大国日本、と感心させられたものです。午後2時30分、報道陣やカメラマン、入場できなくてガラス越しに外からのぞき込む大勢の人々が見守るなか、当日の名譽ゲスト、ナポレオン3世の直系子孫にあたるプリンセス・ナポレオンの臨席を仰いで競売が開始されました。競売人の賑やかな掛け声で、一つの銘柄が競りにかけられる度に中央の壇上で小さなローソクに火が灯され、その灯が消えぬ内に競りが行われるという珍しい伝統的なやり方です。落札されるごとに落札社名と国名が発表されますが、日本とスイスが目立って多く感じられました。1988年のヴィンテージは過去10年間で最高との前評判から、落札価格も前年に比べ赤ワインが34%アップ、反面、白ワインは9%のダウンでした。これはそ



オスピス・ド・ボーヌ中庭



オークション風景(壇上前列中央の女性がプリンセス・ナボレオン)



特製ワインラベル



オークション参加者に配られるパンフレット

の年の赤ワインの出来がいかによかったかを物語っています。また、この回の大きな話題としては、カタログ外で出品された赤ワインで、ナボレオン妃殿下が名誉会員であるフランス赤十字社へ寄贈されたキュヴェ「ルイ・ベトール」が、1樽529万円と当日の最高値で大手ワイン・ドメーン、パトリアルシュ社によって落札されたことです。

また、例年高い値がつく白の特級「コルトン・シャルルマーニュ、フランソワーズ・ド・サラ」のときは、日本の有名洋酒メーカーとロバート・クラブ率いるイギリスのワインコレクターグループとの間で白熱した競り合いが繰り返されました。会場全体が固唾を飲みながら、最後にイギリス側がこの素晴らしいワイン4樽を1310万円で落札。これは前年の倍の値がつく記録的なものでした。記者団の取材に答えてロバート・クラブは、「これでこんなよいワインをヨーロッパにとどめることができた」と満足そうにコメントし、暗に東洋からのバイヤーの買い漁りを皮肉っていました。

落札されたワインは、樽詰めのまま地元のワイン業者が引き取り、そのカーヴで保管熟成し、2-3年で瓶詰めしラベルを貼り、落札者の手元に届けてくれます。これらの手数料、運賃、税金などが加算されるため、ワインは最終的にかなり高いものになります。が、美しいデザインのラベルに、ワイン名、ぶどう畑の寄進者名、ヴィンテージ、そして落札者の名前(会社名)が表示されれば、慈善事業に寄与したという名誉と誇りをもって充分報われるのではないのでしょうか。

最後に、昨年1998年度、オスピス・ド・ボーンのオークションにかけられたすべてのワインの数量と価格をご紹介します。この年の総取引額は約5億4千万円(1FFr=22円)で、前年比12%アップとなりました。

### 第138回(1998年)

#### オスピス・ド・ボーンのワインリスト

	寄進者名	数量(樽)	落札値 / 樽
<b>(赤ワイン)</b>			
BEAUNE	Cuvée Guigone-de-Salins	26	35000F
VOLNAY	Cuvée Blondeau	22	36000F
SAVIGNY-LES-BEAUNE	Cuvée Arthur Girard	18	36000F
POMMARD	Cuvée Dames de la Charité	17	43000F
CLOS DE LA ROCHE	Cuvée Cyrot-Chaudron	2	93000F
CORTON	Cuvée Charlotte Dumay	30	51000F
BEAUNE	Cuvée Dames Hospitalières	20	42000F
VOLNAY SANTENOTS	Cuvée Gauvain	14	45000F
BEAUNE	Cuvée Cyrot-Chaudron	15	37000F
MAZIS-CHAMBERTIN	Cuvée Madeleine Collignon	12	83000F
BEAUNE	Cuvée Hugues et Louis Betault	23	38000F
PERNAND-VERGELESSES	Cuvée Rameau-Lamarosse	10	34000F
POMMARD	Cuvée Suzanne Chaudron	13	40000F
BEAUNE	Cuvée Maurice Drouhin	24	36000F
SAVIGNY-LES-BEAUNE	Cuvée Forneret	12	34000F
BEAUNE	Cuvée Clos des Avaux	20	39000F
POMMARD	Cuvée Billardet	17	40000F
CORTON	Cuvée Docteur Peste	25	54000F
BEAUNE	Cuvée Nicolas Rolin	28	36000F
POMMARD	Cuvée Raymond Cyrot	15	40000F
SAVIGNY-LES-BEAUNE	Cuvée Fouquerand	19	35000F
BEAUNE	Cuvée Rousseau-Deslandes	28	35000F
MONTHELIE	Cuvée Lebelin	9	33000F
AUXEY-DURESSES	Cuvée Boillot	8	30000F
VOLNAY	Cuvée Miteau	15	37000F
BEAUNE	Cuvée Brunet	14	36000F
CLOS DE LA ROCHE	Cuvée Georges Kritter	2	72000F
VOLNAY SANTENOTS	Cuvée Jehan de Massol	15	39000F
<b>(白ワイン)</b>			
CORTON VERGENNES	Cuvée Paul Chanson	5	66000F
MEURSAULT	Cuvée Humblot	7	56000F
MEURSAULT GENEVRIERES	Cuvée Philippe-le-Bon	6	67000F
MEURSAULT CHARMES	Cuvée Grivault	6	67000F
CORTON-CHARLEMAGNE	Cuvée François-de-Salins	5	90000F
POUILLY-FUISSÉ	Cuvée François Poissard	20	35000F
MEURSAULT	Cuvée Loppin	10	42000F
MEURSAULT CHARMES	Cuvée Bahézre- de- Lanlay	15	54000F
BATARD- MONTRACHET	Cuvée Dames de Flandres	4	156000F
MEURSAULT	Cuvée Goureau	8	46000F
MEURSAULT GENEVRIERES	Cuvée Baudot	18	57000F
		104	
		G.T. 577	